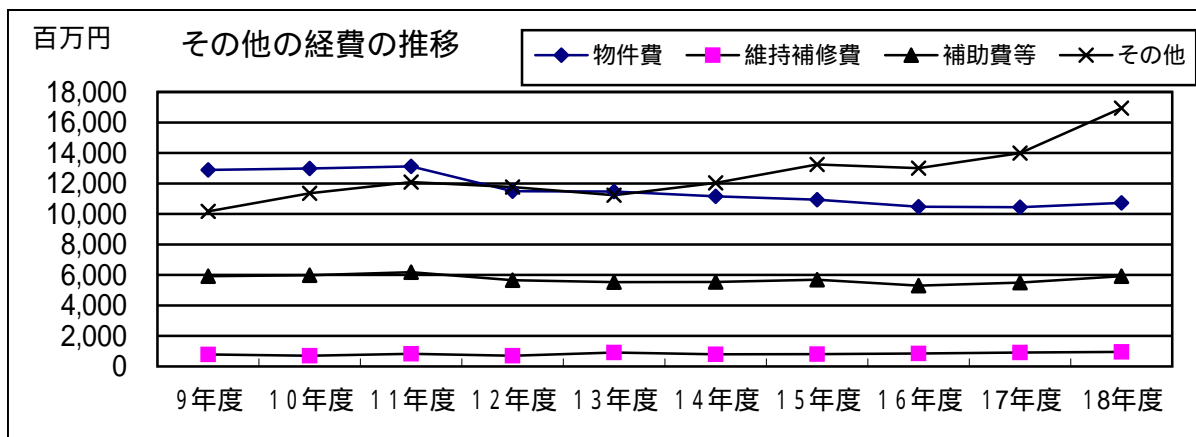


#### 14. その他の経費の推移

その他の経費は、平成17年度と比べて約37億1千万円、12%の増となった。

その他の経費とは、義務的経費と投資的経費を除く経費であり、物件費、補助費等と、維持補修費、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金などで構成されている。平成18年度は、平成17年度と比較して約37億1千万円、12%の増となった。主な要因は、公共施設建設基金への積立などによる積立金約21億3千万円の増、国民健康保険会計や駐車場整備会計など、他会計への繰出金の増により繰出金が約8億4千万円の増となったことである。なお、物件費については、「16. 物件費の推移」において分析する。



次のグラフは、その他の経費の構成比を示したものである。

平成12年度以降、繰出金の構成比が伸びてきているが、これは普通会計の集計方法の変更に伴い、平成12年度から介護保険の関連経費が、平成14年度からは駐車場の管理運営及び整備に関する経費が繰出金に計上されているためである。

平成18年度は、維持補修費や積立金等を含む「その他」が伸びている。これは、公共施設建設基金への積立金の増などによるものである。

